

## 第1回千葉県誕生150周年記念事業官民連携会議

日時：令和4年10月25日（火）

午前10時から午前10時35分まで

場所：オークラ千葉ホテル 3階 エリーゼ

### 【知事挨拶】

皆様おはようございます。皆様方には大変お忙しい中、当会議の委員をお引き受けいただき、また御出席をいただきましてありがとうございます。

令和5年は、当時の木更津県、印旛県の両県が合併をして、千葉県が誕生してから150年目となる節目の年でございます。100周年の時を振り返りますと、県政100周年記念事業として、式典、記念誌の刊行、海外派遣、農業祭、水産祭、少年自然の村の設置、植樹祭などを行いました。

今回の千葉県誕生150周年は、県民に千葉県をもっと好きになってもらい、また、県内外から人を呼び込む絶好の機会と捉えておりまして、150周年記念事業を県全体で盛り上げ、この機会を生かして本県ならではの魅力を発信したいと考えています。いわゆる記念事業を一過性のものだけではなくて、これ以降千葉県の各地域において150周年の記念事業を契機に、強化・充実されたような、文化や芸術、様々な種がまかれていくことが、我々の一番目指していきたい姿であります。

そうした150周年を県全体で盛り上げるためには、市町村や民間の皆様の御協力をいただきながら、様々な分野で連携し、事業を展開していくことが必要であると考えています。委員の皆様におかれましては、忌憚のない御意見を賜るとともに、150周年を一緒に盛り上げていくために、それぞれできる取組などを考えていただく契機としていただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

## 【事務局説明】

(千葉県誕生150周年について)

- ・会長挨拶にもあったが、令和5年は千葉県が誕生150周年を迎える節目の年である。
- ・千葉県の成立は、明治6年(1873年)。廃藩置県により、多くの藩が県ということで設置されたが、明治4年(1871年)に印旛県、木更津県、新治県という3県が成立し、そのうちの旧印旛県と旧木更津県が合併して千葉県が成立したのが明治6年(1873年)。ここから数えて来年が150周年ということになる。なお、今の千葉県の形にほぼなったのは、それから2年後、明治8年(1875年)で、新治県の一部を千葉県に編入して、ほぼほぼ今の千葉県の形になった。

(記念事業の概要について)

- ・150周年記念事業のテーマは、「県誕生から150年を振り返り、続いていく未来(100年後)に思いを馳せる」。このテーマに基づき、各事業を展開していきたいと考えている。
- ・背景として、大きく4つ。新型コロナの影響や自然災害による経済や県民生活への影響、東京オリンピックパラリンピックの財産の継承、豊かな自然環境と優れた都市環境を持つ本県ならではの多様な文化資源、また豊かな自然に恵まれた県土が挙げられる。
- ・こういった背景を踏まえ、コンセプトとして掲げている「東京の隣接性を意識しつつ、千葉の豊かな自然環境(海、里山、川、水辺)を活かした事業」を展開していこうというもの。具体的にはキーワードにあるように芸術祭のようなものを一つ考えている。また、アート、音楽、テクノロジーということでこれまでになかった新しい芸術というものを目指していければと考えており、市町村が主体となって実施するイベントを募集し、県から補助金を交付するというスキームを考えている。
- ・これらの事業の実施による効果としては、交流人口の増加による地域経済の活性化、また郷土への誇りと愛着を深める、また千葉のブランド価値の創出、また新たな文化芸術の価値を創造できる社会というものにつなげていきたいと考えている。
- ・なお、令和5年6月から1年間を150周年と位置付け、これまでの150年を振り返るとともに、続いていく未来(100年後の千葉県)を県民が考える機会としたいと考えている。

(事業内容 ①県)

- ・県の文化振興課は、本日の官民連携会議、また庁内の連絡会議、推進本部の事務局を務めている。
- ・またこれまで県民の日の中央行事として実施していたものを150周年の中で位置付け、記念式典等を実施したいと考えている。こちらは来年の6月に松戸市の方で実施したいと考えており、内容は、千葉交響楽団等を活用した事業を展開していきたいということで現在検討中。
- ・また全体の広報、また記念事業の取りまとめ、地域行事の実施等、市町村への支援として、記念事業を実施する市町村に対し、資金的な支援、また実行委員会への参画等を行いたい。また「市町村が実施する取組加算事業の調整・企画支援」ということで、こちらについては、後ほど説明させていただく。
- ・地域振興事務所は、管内市町村への支援や、県民の日の地域行事を150周年バージョンで実施をしていただく。また、庁内の推進本部への参加を行う。

(事業内容 ②市町村)

- ・市町村は、先ほど概要の方で申し上げたが、記念行事ということで、芸術祭や記念コンサート、展覧会等を実施していただく主体ということで考えている。
- ・補助金額の出し方は、県が示すテーマ、コンセプトで記念行事を展開する市町村に対し、県から助成を行うというもので、特に複数の市町村が広域で芸術祭を実施する場合には、手厚く助成をする。広域実施による加算、取組による加算ということと、それを合わせた両方の加算ということで制度の設計をしている。
- ・この中で特に加算事業については、県全体の統一感を持たせた事業を展開していくため、県内に拠点を持ち、国際的に活躍している著名な方2名程度にプロデュースを県から委託をしたいと考えている。委託を考えている所については、「国内の主な芸術祭」という参考資料をご覧いただきたい。国内全国各地で様々な芸術祭が開催されているところだが、そのうち本県の150周年記念事業のコンセプトに近い芸術祭をやっているものを1枚目ということでまとめ、2枚目にはコンセプト等は異なるが都市型の芸術祭を一覧表にまとめている。このような国内で既に実施されているような芸術祭の中で、先ほどの国際的に活躍している著名な方を2名程度選考して、プロデュースをお願いしたいと考えている。

(事業内容 ③団体・企業)

- ・団体・企業の皆様には、賛同行事を来年の年明けから募集をしたいので、まずはこちらの御検討をお願いしたいと考えている。
- ・また、それ以外にも県の方でフラッグやポスター等の広報啓発物資を用意したいと考えており、それを是非商店街やお持ちの施設で装飾、また企業の中には県と同じく〇〇周年という周年行事をお迎えになる企業もあろうかと思うので、こういった周年行事との連携、こういったことを御検討いただき、千葉県誕生150周年の一層盛り上げをお願いしたいと考えている。
- ・また、本会議の構成団体の皆様から実務者による集まりの場を設置したらどうかという御提案をいただいている。そのような場を活用し、この事業が後世に残る新たな取組になるよう、そういったアイデアを皆様から募集をしたいと考えているので、そちらの御協力もお願いしたいと考えている。

(スケジュール)

- ・市町村の記念事業また中核イベントということで開催をお願いしているところだが、開催期間については、資料に記載のとおり記念事業については来年の6月から1年間、複数の市町村が一緒に取り組む中核イベントについては、来年10月頃からのスタートということでまとめているところ。
- ・県の事業については、機運醸成ということで先ほどお願いした賛同行事の募集・認証開始、またこの後説明する記念チーバくんのデザインロゴの活用展開というものを年明け早々から始められるよう現在進めている。
- ・また、今年度の機運醸成の取組として、現在111件ある「ちば文化資産」について、これを150件にしようという追加選定を実施しており、現在県民投票にかける候補の絞り込みをしているところ。また、150周年の記念切手のデザイン募集を行い、こちらも県民の皆様の投票により決めたいと考えており、その準備も現在進めている。
- ・推進体制については、庁内の推進本部、官民連携会議をそれぞれ来年度は2回ずつ開催をしたいと考えている。
- ・県民の日の中央行事は先ほどご説明したとおりで、県地域振興事務所の地域行事も1年間かけて実施していくということで計画をしている。

(チーバくんデザイン原案)

- ・150周年記念のチーバくんのデザイン原案については、スクリーンへの投影のみということで御了承いただきたい。
- ・現在、チーバくんのデザインをしていただいた市川市出身の坂崎千春さんにデザインの検討をお願いしている。
- ・現在出されてきたデザインの原案は、千葉県を形にしたチーバくんが千葉の色々なものを載せた宝船ということで、宝船には現在のラフ案では鯛とか海老とか落花生とかが載っているが、こちらには何を載せてもいいとのことである。
- ・制作者の意図としては、150周年の今だからこそ原点に帰るという意味であえてチーバくんの基本の形を使いたいとのこと。
- ・今後は正面から見た宝船のラフ案を作成し、さらに磨き上げをかけて、決定・公表まで進めていきたい。
- ・こちらのデザイン案で決定したものについては、無償で使用できるようにする予定で、是非民間の皆様にも商品展開等で活用をいただきたいと考えている。

### 【質疑応答】

議長 それでは、議題に関する御質問・御意見、また、全体を通じての御質問、御発言がございましたら、よろしくお願いいたします。

御意見ございませんでしょうか。後日御意見などございましたら、この場でなくても事務局のほうにお話しいただければと思います。

それから、冒頭に熊谷知事からお話ございましたとおり、記念事業の実施においては、未来に向かって後世に残るような事業を考えていくことが大切だと思います。芸術祭や音楽祭の開催などが考えられます。先ほどプロデュースの説明がございましたが、千葉で素晴らしい取組を始めた皆さまに思っただけのよう、専門知識を持っている方を選ぶ必要があると思いますが、何か御意見はございますでしょうか。

委員 千葉県誕生150周年事業ということで、県を挙げての一大事業となるのではないかと認識しております。そのなかで、先の会長の話にもございましたけれども、①継続性・持続性があること、それから②県民の支持等、誇りになるようなものであること、それからもう一つの要素としましては、③千葉ならではのオリジナリティの感じ

られる企画、この三つの要素が必須ではないかと考えます。

今話題に出ております芸術祭についてですけれども、芸術祭は県の大きなアピールにつながるものだと感じております。なかでも、私がこの資料を拝見したなかで、Reborn=Art Festivalを開催している小林武史さんは、このフェスティバルだけではなくて、千葉県でも木更津市で閉鎖された牧場を再開拓してそこに人を集めていくという体験型の施設の開設に関わっておられます。

それから、非常に多くの芸術祭にお名前が出ておりますけれども、北川フラムさんという方は、いちはらのアートミックスに関わっていただいていますし、市原の美術館の館長も務めていらっしゃるという聞いております。北川フラムさんは非常に高名なアートディレクターの方ですけれども、こういった千葉県にゆかりのある方に御協力をいただいて、千葉を盛り上げていくということが一つの手段として考えられるのではないかと考えております。

議長 ただいまの御意見に対し、事務局はいかがでしょうか。

事務局 事務局でございます。先ほど御覧いただきました一覧の方から二名程度、優先順位を付けて選考していきたいと考えております。ただいま委員からいただいた御意見も参考にしながら、検討を進めて参りたいと思います。ありがとうございます。

議長 では、委員からの提案について、事務局において実現に向けてしっかり検討願います。それでは、その他に御意見、御発言がある方いらっしゃいますでしょうか。

委員 この150年前を振り返って、地図を見ますと、東総地域並びに銚子、この辺までは150年前は千葉県ではなかったということになります。是非この辺は知事に考慮していただきたい。この地域は江戸時代に非常に教育が盛んな地域でございまして、ものすごくこの地域の人々は高水準な教育を受けた人々が多かったと考えております。是非そういうことも含めてお願いしたいと思っております。

千葉県においては、野田から柏、流山、松戸、この地域の方々にははっきり言って、千葉県民という意識が薄いかなと考えております。これを機会に是非千葉県のすばらしさ、南総地域、東総地域、中央の山間部、素晴らしい地域がたくさんありますので、より知っていただけるよう、各地域が交流できるように活発にやっていただきたいと

思います。

そして、観光需要を喚起し、最終的には定住人口も南総地域、東総地域にも定住していただけるような、魅力的な県にしていきたいと思っておりますので、是非協力して150周年を盛り上げていきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

議長 事務局からお願いします。

事務局 委員から御指摘あった事項につきまして、我々もまさにそのとおりであると思っております。是非そのような姿が実現できるような事業の展開を目指して、また委員の皆さまからいろんなアドバイスをいただきながら事業を進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。